

NPO インターン受入団体情報シート

▶ 団体情報

団体名	北股地区振興会												
活動地域(市町村)	岩手県奥州市衣川北股地区												
団体 & 活動紹介 <small>* 300 字程度</small>	<p>地域の拠点施設「奥州市北股地区センター」の指定管理者として、旧北股小学校（H18 年廃校）の校舎を事務所として活用しながら、学生を中心とするボランティアの受け入れなどに取り組んでいます。</p> <h3 style="text-align: center;">地域運営組織 北股地区振興会</h3> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">項 目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定管理者</td> <td>北股地区振興会 会長 阿部 睦雄</td> </tr> <tr> <td>団体設立年度</td> <td>平成19年5月</td> </tr> <tr> <td>職員・世帯数</td> <td>職員数4人・非常勤1人 世帯数132（R4年）</td> </tr> <tr> <td>主要業務</td> <td> 【総務部・福祉部】 防災訓練、敬老会、介護相談・健康づくり活動 【生涯学習スポーツ部・地域産業振興部】 夏祭り、食と芸能まつり、産直・首都圏との交流 </td> </tr> <tr> <td>団体の特色</td> <td> 奥州市の30地区振興会組織で最も人口が少ない中、個性がキラリと光り輝く地域活動に取り組んでいる ◎第4次北股地区コミュニティ計画（R3～7年度） 【スローガン】 ころ豊かに自然と調和する 誰にもやさしく・なつかしい 住みたい・住み続けたい『きたまた』 ◎岩手県立大学との協働研究（H29年度～R3年度） ボランティアセンターとしての取り組み 農村DXセンターの試行（R4年度～6年度） </td> </tr> </tbody> </table>	項 目	内 容	指定管理者	北股地区振興会 会長 阿部 睦雄	団体設立年度	平成19年5月	職員・世帯数	職員数4人・非常勤1人 世帯数132（R4年）	主要業務	【総務部・福祉部】 防災訓練、敬老会、介護相談・健康づくり活動 【生涯学習スポーツ部・地域産業振興部】 夏祭り、食と芸能まつり、産直・首都圏との交流	団体の特色	奥州市の30地区振興会組織で最も人口が少ない中、個性がキラリと光り輝く地域活動に取り組んでいる ◎第4次北股地区コミュニティ計画（R3～7年度） 【スローガン】 ころ豊かに自然と調和する 誰にもやさしく・なつかしい 住みたい・住み続けたい『きたまた』 ◎岩手県立大学との協働研究（H29年度～R3年度） ボランティアセンターとしての取り組み 農村DXセンターの試行（R4年度～6年度）
項 目	内 容												
指定管理者	北股地区振興会 会長 阿部 睦雄												
団体設立年度	平成19年5月												
職員・世帯数	職員数4人・非常勤1人 世帯数132（R4年）												
主要業務	【総務部・福祉部】 防災訓練、敬老会、介護相談・健康づくり活動 【生涯学習スポーツ部・地域産業振興部】 夏祭り、食と芸能まつり、産直・首都圏との交流												
団体の特色	奥州市の30地区振興会組織で最も人口が少ない中、個性がキラリと光り輝く地域活動に取り組んでいる ◎第4次北股地区コミュニティ計画（R3～7年度） 【スローガン】 ころ豊かに自然と調和する 誰にもやさしく・なつかしい 住みたい・住み続けたい『きたまた』 ◎岩手県立大学との協働研究（H29年度～R3年度） ボランティアセンターとしての取り組み 農村DXセンターの試行（R4年度～6年度）												
団体 HP URL	北股地区振興会・北股地区センター ホームページ - (kitamataacc.floppy.jp)												
団体 SNS① URL													
団体 SNS② URL													
団体 SNS③ URL													

▶ 受入担当者情報

名前	高橋 進
名前(かな)	たかはしすすむ
肩書き	地区センター事務長
自己紹介 <small>* 300 字程度</small>	中山間地域を中心とする農山村の暮らしに関わり続けておよそ半世紀。高度成長期からバブル期にかけての右肩上がりの時代から「失われた〇

	<p>〇年」を経て、昨今の少子高齢化に至るまで、辺境の農山村は首尾一貫して衰退の一途をたどってきました。あと 10 年もしないうちに、農山村の景観や暮らしが急激に変わっていくことを肌感覚で実感しています。</p> <p>地域の地盤沈下は静かに緩やかに進む災害のようなもので、気づいた時には被災地のような状況になっていると思います。少しでも抗おうと「平常時のボランティアセンター」を試みて 7 年目を迎えました。思い描いたような成果は得られていませんが、昨年農水省が主催する「農村プロデューサー養成講座」を受講しました。</p> <p>北股の地から農山村にもう一度活力を取り戻す取り組みを発信したいと考えています。</p>
自己紹介写真	<p>下記フォルダに格納ください。</p> <p>https://photos.app.goo.gl/TKHGQtQdgpKWL75N7 (←Drive フォルダリンク入れ込み)</p>
参加を検討している人へのメッセージ * 200 文字程度	<p>学生の皆さんを中心に、地区外の若い方々からボランティア（人材）やアイデアなどを持ち寄っていただくようになって 7 年ほどになります。これまで、県内はもとより県外からも多くの大学生や高校生の皆さんに北股に関わっていただいています。この取り組みが評価されて、去年は文部科学省から「優良公民館」として全国表彰を受けました。今回の「インターンシップ」を通じて、また新たなつながりが生まれることを期待しています。</p>

▷インターン情報

プロジェクト名	だれでも・なんでも「語り場・たまり場」
プロジェクト内容 (背景・課題も含む) * 300 字程度	<p>地域で若者の姿をほとんど見かけなくなり、子供の姿や声は大型連休やお盆などの限られた瞬間しか見たり聞いたりすることがなくなった。何はなくとも時間には不自由しないはずの高齢者も、農作業以外はほぼ「引きこもり」状態で人が集まって楽しむ機会が著しく減少している。</p> <p>内部のマンパワーだけで集い、楽しむ機会を創出することができないのであれば、外部の人材の力を借りながら少しずつ盛り上げていくしかないと考えられる。</p> <p>老若男女問わず楽しむことができるレコード喫茶（カフェ・サロン）やミニマルシェ・居酒屋などと、キャンプファイヤーや星空観察などのナイトメニューをセットにした定期的なイベントで地域の「たまり場」「語り場」を作り出す。また、そこに関わる外部のスタッフとも地域の魅力や課題を発見したり語り合ったりしていただく。</p>